

ニュージーランドの子育て支援策



札幌市の合計特殊出生率は、昨年度 1.02 になり、さまざまな少子化対策がとられているにもかかわらず、減少に歯止めがかからない。昨年度、札幌市次世代育成支援計画が策定されたが、内実を伴ったものにするために、今回、ニュージーランドの子育て支援策の視察調査を行った。

貧困と人口爆発をかかえる発展途上国と違い、現在、日本で進行している少子化現象は人々が選択した結果であり、間違っていると批判するだけでは解決しない。家庭生活や子育てに夢を持ち、安心して子どもを産み育てることのできる社会ではないと判断した結果が、少子化社会なのである。少子化現象は経済システム、社会保障システムを含むさまざまな制度、言い換えれば戦後日本のすべての社会システムに対して根底からの見直しを迫るものである。

直近に解決が要求される問題としては、子どもを実際に預かる幼稚園と保育所を含めての制度の見直しであり、幼・保の壁を取り払った総合施設の設置 子育て中の父母に対する支援 児童手当の拡充 などがあげられる。この3点を中心にした視察調査とした。

TINY TOWN(総合的 Child Care Center & PreSchool)



オークランド市郊外にある「タイニータウン」という生後の赤ちゃんから小学校に上がるまでの子どもを預かり、学童保育も行っている総合施設を訪問した。施設の所管官庁は、当初、健康省、次に福祉省、現在は教育省になっている。

年齢別の保育室はロッカーと調理場を挟んで、2室が見渡せるようになっている。調理場があることにより、家庭的な雰囲気

が醸し出されている。保育士の配置数は日本と変わらない。さまざまな民族・人種の子どもがいるために、共生を目指し、それぞれの民族固有の文化を示す展示もある。生まれてからすぐに国際化教育が始まっている。子どもたちは園庭で遊んでいたが、かなり小さな子どもが坂をゴーカートで下っている。「危ないからやめなさい」と言いたくなるほどである。

園内の道を挟んで、隣は学童保育棟になっている。放課後だけでなく、ニュージーランドでは、子どもだけで家にいることが禁止されているため、出勤の早い親は、朝子どもをあずけに来る。子どもたちをバスで学校に送り届けるそうだ。ニュージーランドの小学校は、入学式がないという。6歳の誕生日が来ると、順次小学校にあがると



いう。一人ひとりに対応した授業を行うため、入学日がずれてものなんの問題もないという。また、小学校の在籍期間も短くするか長くするか選べるが、ほとんどの子どもが、長い方を選ぶという。

日本の保育園と大きく違うのは、設備面である。地下室には木工室、裁縫室、ランドリーがある。機材の整った木工室では、子どもたちが園庭で遊んでいたゴーカートをつ



くっていた。椅子やテーブル、ベッド、ブランコなどがここでつくられている。裁縫室はまるで布地店のようである。シーツ、枕カバーなどをつくっている。洗濯物はランドリーですべてやってもらえる。私が子どもを保育園に預けていた時は、出勤前のあわただしい時に、シーツを変える、保育園から帰ってすぐに、洗濯し、食事を作り、おむつや着替えなど明日の準備をするなど、

今、振り返ってもぞっとするようなゆとりのない生活を送っていた。これでは、子どもを産むことを躊躇する人が増えて当然だと思う。

ニュージーランドにおける保育は、子育て中の父母に優しいきめ細かい配慮を、いたるところで感じることができた。

「タイニータウン」は学童保育と組み合わせた総合的な子どもの保育・教育施設であるが、このほかにも、親支援を行うファミリーセンターと組み合わせた保育・教育施設

もある。ファミリーセンターとは、育児に関する総合保健所のような場所で、子どもの健康チェッ

クや、育児に追われ、精神的かつ体力的に疲れた親のカウンセリングやヒーリングを行う施設である。仮眠室などがあり、数時間担当職員が子どもの面倒をみて、母親を休ませてあげたりしている。

日本では、母性神話が強く、「女は育児能力がもともとあるもの、子どもはかわいいものであり、女は喜んで育児をしている」と決め付けがちである。このような状況がより一層、女性にプレッシャーをかけ、子どもを産まない選択をする女性が増えているのだと思う。





ニュージーランドの家庭への財政援助、養育費援助

「タイニータウン」で、一律の保育料金表を示されたために、収入により段階はつけていないのか質問したところ、最初、園長はどのような意味の質問かわからなかった。その後、一冊の本を持ってきてくれた。「もっと多くの家庭に、もっと多くのお金を」と書いてある冊子だった。社会保障制度として充実した手当で支給しているために、保育料金の段階制をとっていないことがわかった。さまざまな家族の形態や、収入状況の例をあげ、大変わかりやすい内容であった。翻訳しづらい単語があるため、少々わかりづらい面もあるが、以下に記したい。

【 より多くの家族に より多くのお金を 】

あなたは、今現在、Working for Families という制度を通じて、特別給付金を受け

る資格を有しているかもしれません。それは、住宅や保育にかかる費用を補助し、あなたがより働きやすく、そしてよりよい家庭生活を築く手助けとなるように計画された制度です。

何千人ものニュージーランド人が、今より多くのお金を受け取る資格を持っています。

～年収が 45,000 ドル未満の家庭ほぼすべて

～年収が 45,000 ドルから 70,000 ドルまでの家庭の多数

～それ以上の年収がある大家族の一部

～benefit (手当) を受けている家庭

～子どものいない家庭の一部は、住宅経費として、補助の資格を得られる可能性もあります。

こうした改革は、2004 年 10 月から始まりました。2005 年 4 月 1 日からさらに 2 年間にわたって、家庭を補助するために多くの新しい制度が生まれました。

【 家庭のための財政援助 】

Family Assistance とは、18 歳以下の子どもがいる家庭のための財政援助です。それは内国税収入から、主な収入を労働によって得ている家庭へと支払われます。Family Assistance には 4 種類あり、あなた個人の状況によっては、1 つあるいはそれ以上、給付金を受ける資格を満たしているかもしれません。この制度改革によって、より多くの家庭が給付金を受ける資格を得るでしょう。すでにその資格を得ている人々は、彼らへの Family Assistance が減らされる前に、より多くのお金を稼ぐことができます。

～2005 年 4 月 1 日から、Family Support (Family Assistance のうちのひとつ) は、年長の子どもにつき週 25 ドル、その他の子どもたちについては一人につき週 15 ドル上乗せされます。

～2006 年 4 月 1 日から、新しい In-Work Payment は、現在の Child Tax Credit (Family Assistance のひとつ) に代わり、各々の家庭のために週に最低 60 ドルを支払います。彼らの Family Assistance が減らされる前に、家族はより多くを稼ぐことができます。

～2007 年 4 月 1 日から、Family Support は子ども一人につき、さらに 10 ドルずつ上乗せされる予定です。

Benefit を受けている期間も、あなたは Work and Income から Family Support を受け取ることができます。これは benefit に影響を及ぼしませんが、Family Support が増えるので、全体として見れば、収入が増える計算になります。

【 より多くの養育費援助を 】

14 歳以下の子どもたちがいるならば、Work and Income は、あなたの養育費の助けになるかも知れません。未就学児童のための助成金 = The Childcare Subsidy と、学齢に達した子どもたちのための助成金 = OSCAR Subsidy がそれです。これらの助成金を受けられるための収入の上限は引き上げられました。つまり、以前は助成金を得る資格を持たなかった家庭でも、現在ならば資格を得る可能性があるということです。助成金の額もまた増加し、以前より育児に対して経済的なゆとりを持つことができるようになっていきます。

~ 2005 年 Childcare と OSCAR は、さらに 10% 上乘せされる予定です。

【 住宅費にもっとゆとりを 】

あなたは、Working and Income から、家賃・食費・抵当権ほか必要不可欠な住宅費を補うものとして、Accommodation Supplement (補足融資) を受けられるかも知れません。Accommodation Supplement を受けられる収入の上限が引き上げられたので、より多くの人々はその資格を得られるようになりました。あなたは自分への支払額が減る前に、より多くの収入を得ることができるのです。

あなたがもし benefit を受けていても、しかも、もらえる範囲内での最高額の支給を受けている場合であっても、あなたは Accommodation Supplement をそのまますべて受け続けることができます。

地域の住宅費高騰のため、2005 年 4 月 1 日、Accommodation Supplement の最大支払い率は引き上げられる予定です。

あなたが Housing New Zealand から家を借りているか、Housing corporation に抵当を持つならば、Accommodation Supplement を受けるの資格は得られません。

【 あなたは、もう支払いを受けていますか？ 】

あなたがすでに Family Assistance、Accommodation Supplement または Childcare または OSCAR Subsidy を受けているならば、何もする必要はありません。あなたへの支払いは、自動的に調節されます。他の支払いに関していずれかの資格があると思うならば、www.workingforfamilies.govt.nz にアクセスしてください。